

安塚・吉川でも安全を確認

ボブスレー施設視察(その2) 日本共産党議員団

日本共産党議員団は9日、市内のボブスレー施設2カ所を視察し、安全性確保などの取り組みについて確認しました。

市内にはこうしたレジャー用ボブスレー施設が4カ所ありますので、6月2日と今回に分けて視察しました。今回は、安塚区のキューピットバレー夏リフ

ト&ボブスレーと吉川区の尾神岳スノーパースライダーです。

双方ともコース脇はきれいに除草されているなど手入れが行き届いていました。しかし、一部に積雪等によるコースのゆがみがあり、今後の安全性確保のためには修繕が必要になりそうです。また、山間地ですので、地下水や雨水がコースにしみ出したり、コース脇の土砂を削ったりしている部分があり、このことが悩みとのことでした。



被害の大きさに愕然

市議会が7/26~27の大雨被害現場を視察

上越市議会は、9日午後、前月26~27日に上越地方をおそった大雨による被災現場を視察しました。

この日訪れたのは、中屋敷地内の市道春日山城上正善寺線の崩落現場(春日山城跡の但馬谷、8/7号で紹介)、五智6丁目地内の五智公園北端の土砂崩れ現場(写真右上)、居多地内の県道大潟上越線の路肩崩落現場(右下)です。

五智6丁目の土砂崩れ現場は、県道を挟んで民家が密集しており、規模が拡大すれば大惨事になりかねないところです。また、居多浜の崩落地は、写真のように海水浴場に隣接しています。

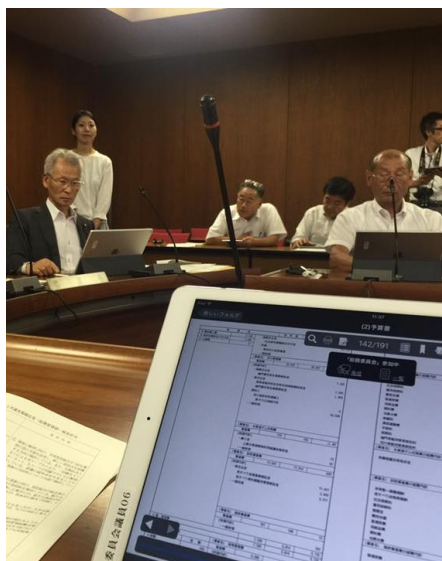
いずれも、被害の規模などを詳細に調査し、復旧事業が県や国の補助対象となるよう協議しているとのことですが、一刻も早い復旧が求められます。

タブレット端末を使い模擬委員会

上越市議会では、議会改革の一つとして議員に提供することで、情報提供の迅速化や紙の削減をめざそうとして、膨大な量の議会資料を電子データ

として議員に提供することで、情報提供の迅速化や紙の削減をめざそうとしています。10日には、タブレット端末を使った模擬委員会が行われました。

中には端末の使い方に戸惑う議員もいましたが、必要な資料が瞬時に表示されることから、導入されれば活発な議論が期待できそうです。



共闘継続を確認

上越市、妙高市の民進党、社民党、日本共産党、生活の党、新社会党の代表と、市民連合などが10日、上越市内で会合を持ち、参院選新潟選挙区選挙で大きな力を発揮した“野党統一プラス市民の共闘組織”の継続を確認しました。

会合では参院選の総括を行うとともに、安保法制廃止などを求めて統一して闘うことを確認し、「連絡調整会議」も存続させていくことを決めました。

この会合には、森ゆうこ参院議員も参加しました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 511 2016年8月21日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
 先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)